

令和4年3月1日

京都市右京区嵯峨
天竜寺北造路町17番地

社会福祉法人 嵐山寮

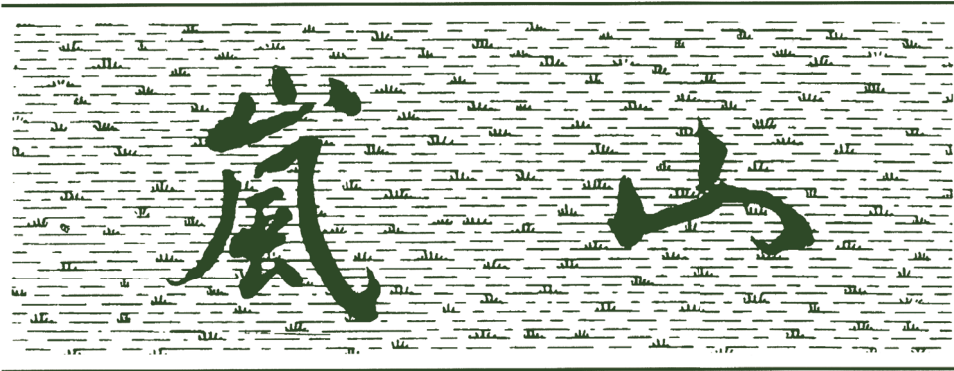
TEL (075) 871 - 0032

FAX (075) 861 - 9157

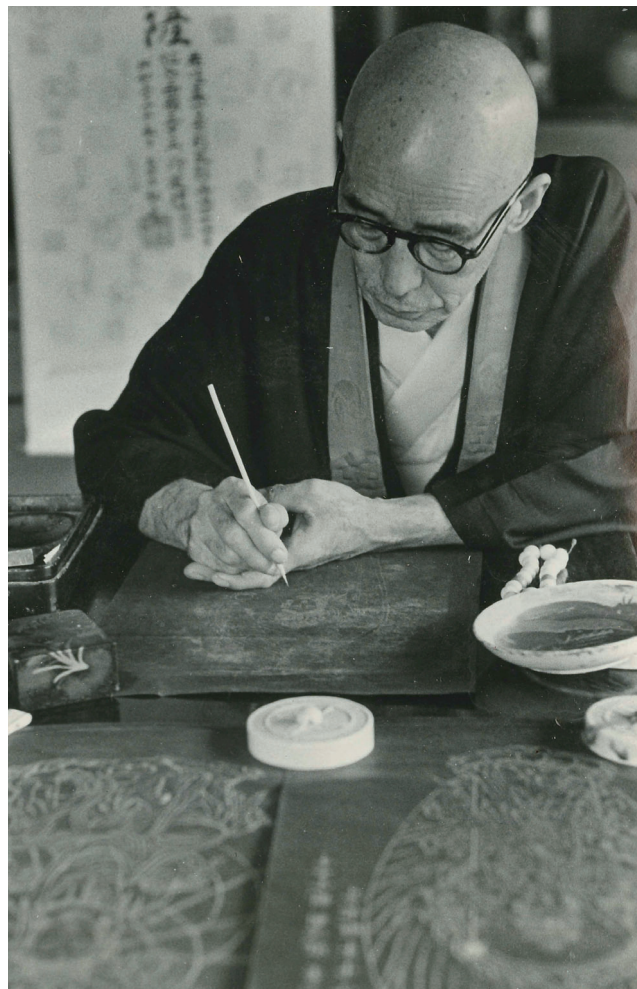
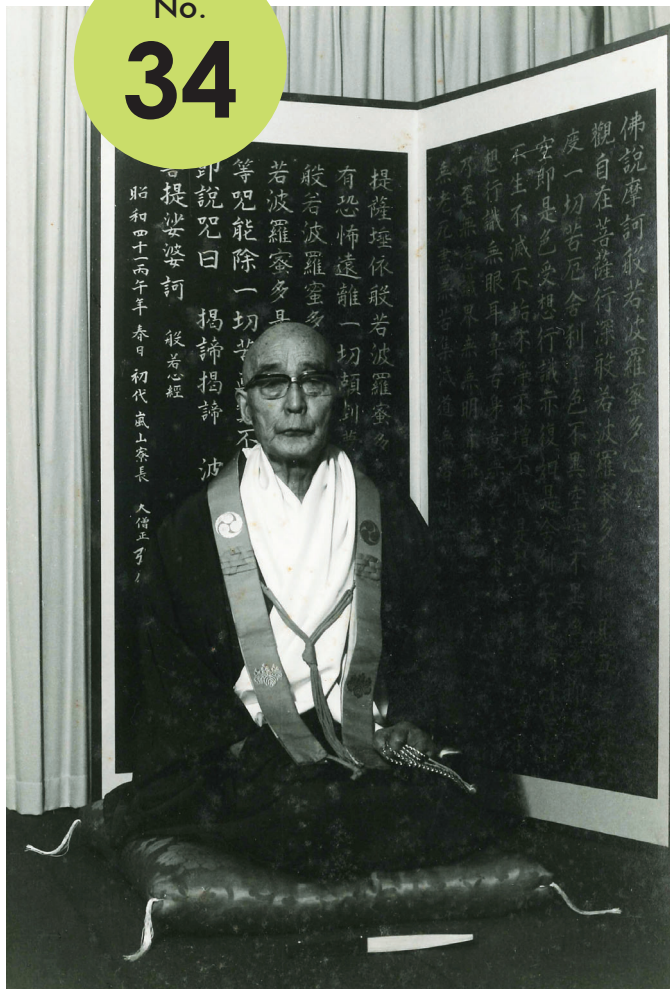
振替口座 京都® 17632

発行人 寺本 演夫

編集人 編集委員



No.
34



創設者 大僧正 亀山弘應祝下

左) 自筆の屏風「般若心經」と共に 初代嵐山寮長と記載あり 右) 能筆で筆まめ「時間があると何かを書いておられた」そうです

『嵐山』に創設者の 志を抱いて

嵐山寮は戦後の養老施設の開設に始まり「生活の主役はあくまでご利用者である」ことに重きを置き、私たち職員は、そのご利用者の独自性や個性、これまでの生活様式を生かしながら「ご利用者一人ひとりが、楽しく長寿生活を送られること」を願ってきました。

機関紙『嵐山(らんざん)』は、昭和61年(一九八六)4月1日に創刊され、今号で通刊34号を迎えますが、当時の養護老人ホーム寮長であった岩崎吉造氏が、嵐山寮創設者 故亀山弘應大僧正の書跡である『嵐山』を誌名として使用して以来、創設者の志と共に、今日まで連綿と受け継がれています。

INDEX

- 1 亀山祝下自筆紹介
- 2 挨拶 寺本理事長
- 3 挨拶 山岸総合施設長
- 4 特集 人材スキルアップセンター
- 6 66期 事業運営について
- 8 総務 後援会会員・寄付寄贈名簿



“らんざん”発行に際して 新型コロナ禍に思う

令和4年3月1日

理事長 寺本 演夫

私の出勤している・嵐山寮 あらしやま・（養護75床、特養多床室30床、ショートステイ、ヘルパーステイション、デイサービス、居宅介護支援センター）の近況を申し上げますと、何といても新型コロナウイルスの京都府及び市中之への蔓延が非常に気になる出来事でございます。

感染症の対応は今までは風邪に始まり、インフルエンザやO-157、ノロウイルス等々ありましたが、直近では新型コロナウイルスの感染症が2年を過ぎても衰えを見せていないのが一番の気懸りです。

いくらマスク、手洗い、アルコール消毒、うがい、換気、湿度保持、等に注意しても養護ご利用者に対してはどうしても外に出掛けていくことを止めることはできません、機会が有る毎にマスク、手洗い等の話をして来ましたが、ご利用者及び職員の皆さんもそれぞれでよく自覚していただき、その甲斐あってか、まだ施設での蔓延を防ぐことができている、ほっとしているところでは。

さて、感染症の対応と言えば、私自身もずいぶん昔になります。受験生を2人抱えて生活しているときに、保護者会で担任の先生から「受験生の親が

子供にしてやれることは、お金を出すことと風邪をひかないことだ」と言われたことを思い出しています。

自分自身も同感であると受け止め、その1シーズン必死でひかないように注意して過ごしました。2人ですので合計すると2シーズンですが・・・それまではひと冬には必ず1度や2度はひいていましたので、人間注意すれば風邪も引かないで過ごせることを身をもって知ったことを思い出しています。

施設でのワクチン接種は2月から3回目が始まりました。全て打ち終わるのは1ヶ月ぐらい懸かり、それが済むと一安心と云うところです。もっと早く打つべきだと思いますが、一旦方針が決まるとそれを変更するのは大変難しいことのようにです。また、その間ズーと心配し乍らやきもきする日々が続きます。

また、最近の施設の状況については嵐山寮ホームページにも掲載していますので、よろしかったら、そちらをご覧頂ければと思います。

今後とも嵐山寮の老人福祉事業にご指導ご協力の程を心からよろしくお願い申し上げます。発行のご挨拶とさせていただきます。

有難うございました。

安全性と安心感について

総合施設長 山岸 孝啓



平素より当法人の運営にご支援ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。させていただきます。

今年で創立67年になりますが、長い歴史の中でも新型コロナウイルス感染症がまん延しているこの2年間はとて重要な期間です。

法人の今年度テーマは、「感染症対策など安全を造り出し、安心して生活できる風山寮にします」です。「安全」と「安心」をあげておりとても大切なことです。安全は身体的に危険がない事と心も落ち着くことが必要ですから手指消毒の徹底、検温、換気をする、距離を取る等の各種対策を毎日講じています。また面会も制限（看取り期等は除く）

させていただきます。面会はご利用者の生活の大きな楽しみですので、出来る限り可能にしたいのですがまん延時期は予防のために制限してオンライン面会のみをしています。日頃の様子をお知らせするために、写

真送付や近況報告等をさせていただき心の距離を埋めるように努めています。安全対策にご理解いただいていることを有難く感謝しています。安心と安全を大切に作る半面において、対策を行うことでリスクは回避できますが、ご利用者の生活や施設全体が活力や意欲が減少しないように十分に気をつけたと思います。また、安心は気持ちであり主観的なものですから、安全を徹底しても安心していただけるかどうかは私たちとの信頼関係に大きく左右されます。心の距離は近く持ち、相談しやすい環境づくりに努力することを忘れてはいけません。

また、法人理念に「感謝の心」を掲げて大切にしています。コロナウイルス感染症対策で心の余裕や人と人同士のコミュニケーションが取りづらい現在のなかで感謝する心は特に必要なことです。疾病や加齢等をきっかけに健康や当たり前の生活の貴重さに気づく事が多いです。「生きていること」「生活できること」に心より感謝です。過去に100歳を超えた方が、「朝に目が覚めて、今日も生きさせてもらっていることに毎日感謝しています」と言われた事を大切に思っています。生きて

いることは素晴らしいこと、という事が実感できるのがこの仕事の真髄だと実感しています。

新型コロナウイルスへの予防対策をしっかりと行うことはもちろん大事なことです。ご利用者等ひとの言葉、表情、態度などのコミュニケーションを一番基本におくことを改めて徹底したいと思います。このなかから、自然と感謝のこころが定着して、素晴らしい実践ができるものと信じています。



令和3年4月、『人材スキルアップ支援センター（以下、「センター」）』が新設されました。センターは、サービスの質に直結する「人材の確保・定着・育成」を単体ではなく一貫として達成する組織改革を行うことを目的としています。

従来その役割は、法人事務局（おもに採用活動と福利厚生など働きやすい職場環境づくり）と人材育成委員会（研修中心）が分業で担っていました。しかし、双方ともに、基本業務を持つ職員が兼務で担当していたため、担当者それぞれが感じていた課題に対して、改善・提案まで行



人材スキルアップ支援センター センター長 田中浩二

人材の確保・定着・育成の要となる 『人材スキルアップ支援センター』の創設

う余裕がなく、組織間の連携も不十分でした。

また、研修受講についてもノルマとして捉え、受け身的な発想で参加している職員も多く見かけられました。さらに、採用についても、求人している部署の現場職員が、どこかよそ事（「採用のことは事務局任せ」）に感じていて、採用担当者との間で認識の乖離もありました。それらを改善すべくセンターが立ち上がった訳ですが、11ヶ月が経過し徐々に成果が見え始めてきています。

まず、4月に着手したのは、法人内外へのセンターの広報活動でした。ここで拘ったのは、アナログに地道に足を運ぶことでした。法人内では、直接、職員一人ひとりの話を

聞きに出向き、「センターニュース」でトピックスとして取り上げていきます。特に、子育て世代職員の悩みについて、ママさん座談会を開催し、その内容を「センターニュース」で発信しました。

今後は、在宅介護を支える登録ヘルパーさんにスポットを当てたり、益々重要となっているシニア世代の職員など、色々な立場で嵐山寮を支援して下さっている方のお声を《座談会》でお聞きし、発信したいと考えています。

法人外では、大学や高校、専門学校にパンフレットを持参し、センターの役割や嵐山寮で働くメリットなど説明に伺い、学校の先生方との関係作りを行っています。



【対外的な取り組み】

今センターとして取り組んでいることは、福祉という仕事の魅力を伝えることです。幸い高校や、ハローワーク、各種団体様からご依頼を頂戴する機会も多くあり、求職者をはじめ学生に対して一つでも福祉の魅力を感じていただくことも大きな役割の一つとなっております。学生が職場体験や家族の介護を近くで見たい仕事として選ばれるということが少なくなっています。私達は嵐山寮の人材確保も大切ですが、何より福祉を志す人を切らせてはなりません。これからの法人も人材不足という喫緊の課題と直面していきます。ライブル関係ではなく共存できる福祉業界であることを望みます。

これからは広報誌やHPを通じて人材スキルアップ支援センターの活動報告や新たな取り組みを一つでも多く発信することで、嵐山寮のPRにも繋がりが選ばれる嵐山寮になると確信しております。

【採用活動チーム《RUN》発足】

最近の大きな動きとしては、現場職員を巻き込みながら採用活動を進めていくプロジェクトを立ち上げたことです。法人全体にメンバーを集めたところ、10名の応募がありました。

今後は、その職員と共に就職フェアやHP刷新、パンフレット作成など、現場職員の協力を得ながら、法人全体で採用に向け活動して参りますが、日常業務から少し離れる活動を通して、メンバーの視野や職員同士の輪も広がり、新たなモチベーションアップに繋がればと切に願っております。

【採用キャッチコピーの作成】

また、現在嵐山寮では、就職説明会への出展、Webサイトでの募集その両面で採用活動を進めております。コロナ禍で行動に制約がある中で、数ある法人の中から嵐山寮を選んで入職を検討される求職者の皆様には感謝しかありません。

さて、この度、令和3年12月、嵐山寮に関係する全ての『人を大切に』という想いを込めた、採用のキャッチコピーを作成しました。

嵐山寮の採用に対する姿勢を表現した、柔らかな力強い「メッセージ」になっています。リスペクトあふれる長寿生活を目指して、歩みを進めて参ります。

“Respect”＝法人理念の「相互敬愛」、法人の年間テーマに掲げられている「尊重」を英語で表現
“full”＝人を大切にしたいで満ち溢れた法人を目指す



◇5月に人材スキルアップ支援センターの看板を設置いたしました。
◇事務局内にセンターが設置されたことをきっかけとして、職員が気軽に相談できるようにと職員相談専用スペースを設けました。閉鎖的な空間からの脱却を図り、オープンスペースとして今後も有効活用して参ります。



取り組みを実施して参りましたが、一部をご紹介します。

養護老人ホーム

家庭菜園をスタート！おうち時間を楽しく



コロナ禍で外出制限が続くなか、ご利用者の希望により中庭で家庭菜園を始めることになりました。サツマイモの苗や水やりなどにご利用者が担当され、ワイワイ賑やかに成長を見守っていました。

10月には無事に収穫でき、施設のお仏壇にお供えすることができましたが、この成功体験に、ご利用者も「次は何にしようかね」と意気揚々といった様子です。

一方、モノづくりイベントは、外部からのご参加は難しいながらも開催しています。

また以前のように地域の皆様とお会いできる日を、ご利用者も楽しみにされています。

嵐山寮特別養護老人ホームひろさわ

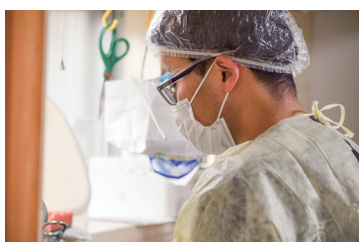
孫の結婚式にオンライン中継で列席されました



お孫様の結婚式、コロナ禍のため会場に出向くことは断念されましたが、オンライン中継で列席され、幸せなふたりの門出を見届けることができました。コロナ禍でも少人数・個別の多彩なレクリエーションを実施していますが、その一部をご紹介します。

- ・ 結婚式の前撮りや法要に参加（感染沈静化時には感染対策を徹底した個別外出を実施）
- ・ 出張調理（ご利用者リクエストの揚げたてホクホクの串カツを目の前で調理しました）
- ・ 美容の日（女性職員によるフェイシャルエステ＆フットケアでリラクゼーション）
- ・ 東京オリンピックの応援（応援グッズを制作し、静かに熱意を持って応援しました）

嵐山寮ホームヘルプサービス コロナ禍でも途切れない援助



新型コロナウイルス感染症対策として、サージカルマスク、フェイ
スシールド、使い捨て手袋、袖付きガウンなど感染防護具を
着用し、感染しない・させない対策を徹底しながら訪問して
います。必要なサービスが途切れることなく提供できるように、
医師・ケアマネジャーなど関係機関と連携し、ご利用者・ご
家族の協力を得ながら、日々業務にあたっています。

高齢サポート・嵐山（京都市嵐山地域包括支援センター） SNS（Social Networking Service）での情報発信をスタート



令和3年5月からインスタグラ
ムを開始し、地域イベントや地域
ケア会議、地域情報などを投稿し
ています。
#コロナ禍でも楽しもう
を言葉に情報を発信し、徐々
にフォロワー数も増えてきていま
す。

後援会会員

敬称略・順不同

後援会29年度以降会費納入者

宮脇 亘様	田村みさと様	田村 庄助様
霧崎 文彌様	西口 嘉和様	星野 利子様
吉川 一也様	生石 和宏様	秋元 徹様
浦川 久乃様	江島 大介様	林 明美様
川井美智子様	山根木園子様	酒井 伸一様
早川 裕美様	小林 康隆様	大星貴代美様
落合 正和様	風山女性会	
正覚寺		
佛願寺様	風山女性会	
佛願寺様		
昭龍寺	田中商店	和 俊明様
大本山天龍寺様		
(株)中村屋	中村 員也様	中井 龍信様
(株)廣川	中野 順二様	
佛願寺様		
普門院様		
(株)エイデル研究所 京都支社	小林雄二郎様	
紅茶専門店アンナマリア	花輪 正丸様	
川村商会様	赤島 貞宏様	
(株)関西電業社	岩佐 光夫様	
嵯峨菊クラブ連合会	岡本 勲様	
(株)坂安		
(株)サント葉局様		
三葉クリンサービス様		
末廣製麺所様		
(株)末松工務店様		
(株)タナカヤ酒販店		
(株)天龍堂		
(株)林石材店		
松山造園様		
(株)みのり		
(株)嵯峨やまじよう		
涼泉建築工房		
(株)都市居住文化研究所		
(株)ロングライフ様		
岡部米穀店様		
(株)共栄薬研様		
宇多野地域女性会		
大阪ガスオートサービス(株)		
ウオキ(有)様		

寄付金

敬称略・順不同

平成30年度以降

成子 定直様	早田 昭三様
川井 敏文様	川井美智子様
角田香勢園様	
金剛院	
嵯峨菊クラブ連合会	加藤 一寧様
嵯峨野病院	岩佐 光夫様
八百清	清水 紘様
茶道クラブ	中村 清二様
(株)共栄薬研様	山崎 澄子様
(株)やましたコーポレーション	
	山下由美子様

寄贈品

敬称略・順不同

平成30年度以降

竹内 孝雄様	大村 泰子様
山本 明美様	吉田 洋子様
眞田貴美子様	高地 次子様
加賀城様	
京都府神社庁様	
金光教四条教会様	
(株)サント葉局様	清水 紘様
嵯峨野病院	
末廣製麺所様	
(株)末松工務店様	
(株)ノースウエット	小林 隆太様
本田歯科クリニック様	
松尾大社様	
(株)嵯峨豆腐森嘉	森井 源一様
(株)嵯峨やまじよう	上西 宗男様
ワタキューセイモア様	
河端病院サービス広沢	河端 博也様
(株)都市居住文化研究所	北條 誠様
公益財団法人 長谷福祉会様	
(株)京キユウ	廣田 善之様
古都治療院	福末由美子様
岡部米穀店様	
(株)共栄薬研様	
ダイキチカパーオール様	

有馬 頼底様



広報誌『嵐山(らんざん)』送付について

拝啓 平素は当法人の事業運営に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、広報誌『嵐山』を発行いたしましたので、送付させていただきます。コロナ禍において職員一丸となって感染対策に努め、法人の事業運営においては健全かつ順調に推移しており、これもひとえに皆様方のご理解とご協力の賜物と深く感謝いたしております。

今後とも設立理念である「感謝の心と相互敬愛を表す合掌の生活の中で、ご利用者一人ひとりが、自らの長寿生活を楽しみながら暮らすための環境づくり」と、地域社会における高齢者福祉の充実と発展のため、一層の努力をしていく所存でございます。今後とも皆様方のご理解ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

また、当法人では皆様方からの寄附および後援会費を受け付けております。後援会費は一口五千元となっております。納入の際は左記内容をご確認の上、同封「払込取扱票(赤色)」をご利用下さい。寄附等の納入は任意ですので、不要な方はご面倒ですが破棄いただきますようお願い申し上げます。なお、「振替払込請求書兼受領証」をもって受領書に代えさせていただきます。

社会福祉法人嵐山寮 理事長 寺本 演夫 敬具

(2022年1月17日～ゆうちょ料金新設のお知らせ抜粋)
現金でお支払いの場合には、料金が加算されます。詳しくはゆうちょ銀行ホームページをご確認下さい。



ゆうちょの通帳またはキャッシュカードをご用意のうえ、口座からのお支払いがおトクです!

- *1: 駅・ショッピングセンター・ファミリーマート等に設置しているATMでは払込書による払込みはお取り扱いできません。
- *2: 公共料金や公庫への払込みなど、払込みの種別によっては料金が異なる場合があります。
- *3: ゆうちょの総口座通帳またはキャッシュカードが必要です。また、ATMでの通帳のご利用にはキャッシュカードのお申し込みが必要です。